

孤独・孤立と『つながり』の再生

開催趣旨:

急速な社会変容と個人の生き方の多様化が進む中で、孤独・孤立の課題への関心が増えています。近年の新型コロナウイルス感染症の広がり、この課題の重要性をより強く認識させるものでもありました。今回のシンポジウムでは、内閣官房孤独・孤立対策担当室が3月に取りまとめる予定の孤独・孤立に関する全国実態調査の結果について報告をいただきます。さらに、「つながり」の再構築にむけてNPO・ボランティアの視点から課題を提起し、格差・分断、ジェンダー、地域・社会福祉協議会との関わりで議論を深めます。

日時: 2022年4月23日(土) 13:00~16:15

場所: Webex (ウェビナー)によるオンライン開催

主催: 日本学術会議 社会学委員会 経済学委員会 合同 包摂的社会政策に関する多角的検討分科会/同 社会学委員会 社会福祉学分科会

お問い合わせ: 須田木綿子 yukosuda(a)toyo.jp
(a)を@に書き換えてお送りください。

参加申込

無料&どなたでもご参加いただけます。定員800名。
下記URLからお申込みください(4月20日締め切り)。
当日までにURLをお送りします。

<https://forms.gle/zpncNnUyL8ejqHHG8>

内容:

13:00 趣旨説明

13:10~13:50 孤独・孤立に関する全国実態調査の結果について
登壇者調整中 (内閣官房孤独・孤立対策担当室)

13:50~14:20 個人化の時代の「つながり」:エピソード・ボランティア
須田 木綿子 (日本学術会議連携会員、東洋大学社会学部教授)

14:20~14:50 人と組織をつなぐ:あきたパートナーシップの取組
畠山 順子 (特定非営利活動法人あきたパートナーシップ理事長)
(休憩)

15:00~15:45 指定討論
格差・分断の視点から:宮本 太郎 (日本学術会議特任連携会員、中央大学法学部教授)

ジェンダーの視点から:大沢 真理 (日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授)

地域・社会福祉協議会の視点から:野口 定久 (日本学術会議連携会員、
日本福祉大学名誉教授、佐久大学人間福祉学部教授)

15:45~16:15 総合討論

進行 和氣 純子 (日本学術会議第一部会員、東京都立大学大学院人文科学研究科教授)